



こちカフエ隊が行く with 岡さんのいえTOMO

～宮城県東松島市新東名の巻～

最終活動発表会 2014/5/25

1. Activity report 活動実施報告



自主企画（3回実施）

私たちが新東名の方と協力し、
企画から実現まで全てコーディネートするイベント



8月実施

夏祭



11月実施

カフェ



3月実施

遊ぼうパン



復興祭

6月実施

追加

岡さんの
いえと
コラボ



- 昨年度と同様のイベントを行うことで、恒例イベントとして根付いた。今後も「岡さんのいえ」が主体となり継続予定
- 世田谷と新東名で姉妹都市のような永続的な定期的交流

コラボ企画（3回実施）

被災地や地域社会でやりたい企画を持っているグループとコラボレーションして「岡さんのいえ」と新東名でイベントを行う

被災地の
子供たちと
遊びたい

季節行事

紹介

受け入れ

9月実施

2月実施

8月実施

インプロ
@新東名

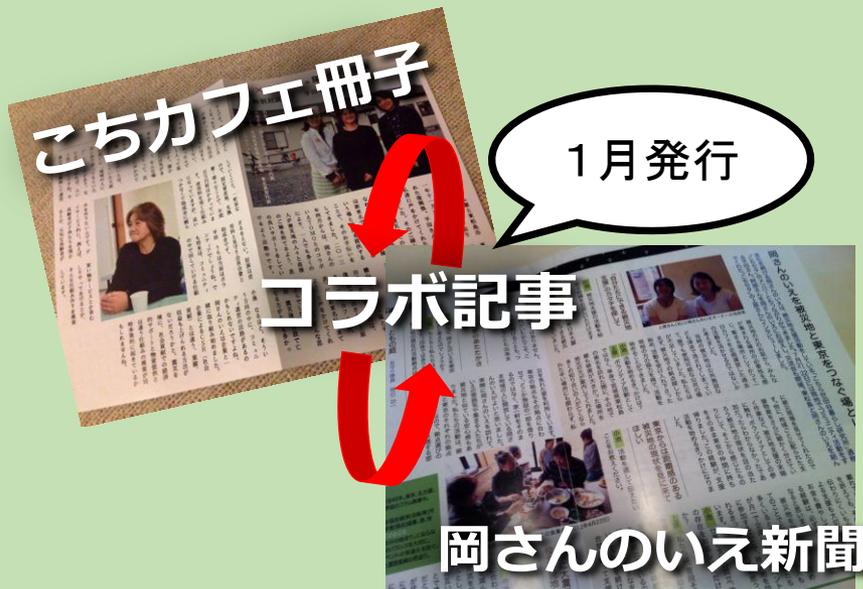
玄米WS
@岡さんのいえ

飾り巻き寿司
@新東名

- 被災地と世田谷の直接比較は難しかったが、活動の広がりや、他団体との交流につながった

広く伝えること

Facebook や 冊子を通じて、新東名の情報や活動の内容を発信し続け、被災地に赴く時間がない方にも被災地の状況をアップデートし続けました



- 岡さんのいえの小池さん×新東名の平田さんの対談記事を岡さんのいえ新聞増刊号として発行（11月に対談実施、1月発行）
- Facebook, ブログでのリアルタイムな情報発信

岡さんのいえとのコラボレーション

昨年度に引き続きいた岡さんのいえと新東名との交流に加え、コラボ誌作成やイベント実施を通じて、こちカフェ隊と岡さんのいえのメンバーの交流も図ることが出来ました。

FY	2012	2013	2014
Month			
4	★公開審査会内容報告会 (3月実施)		
5	★小池さん訪問		
6			
7	★被災体験を語る会	★玄米WS	★写真展・物産市・座談会
8			★夏祭り
9	★対談記事掲載		
10			★第1回広報誌発行
11	★遊ぼうパン	★インタビュー取材	★写真展・物産市・座談会
12			
1		★コラボ誌発行	
2			★交流イベント実施
3	★対談記事掲載	★遊ぼうパン	★第2回広報誌発行

凡例
 ★・・・岡さんのいえで実施
 ★・・・新東名で実施
 ★・・・広報誌



2. Return to Setagaya 世田谷への還元



1年目 2012年

被災地を応援するカフェを開こう。でも…

場所が定まらない

信頼関係がない

どんなカフェにしたら人が来てくれるかわからない

だから、まず、現地に足を運び、必要とされていることをする

2年目 2013年

場所ができた

人間関係ができた

より多くの方に被災地の方との直接のご縁を

被災地への想いをカタチにするサポート

小さな夢や想いを企画に変えるお手伝いを

自分たちの住む地域に還元する

自分たちの住む地域に還元する

私たちが被災地の地域社会に関わりながら体験し学んできたことを、自分たちの住む地域社会に還元し実践していきます

近隣居住の
地域活動に縁遠い
働く単身世代

こちカフェ隊

遠方からの
ボランティア
支援

災害時にも
助け合える近くの
関係性を作る

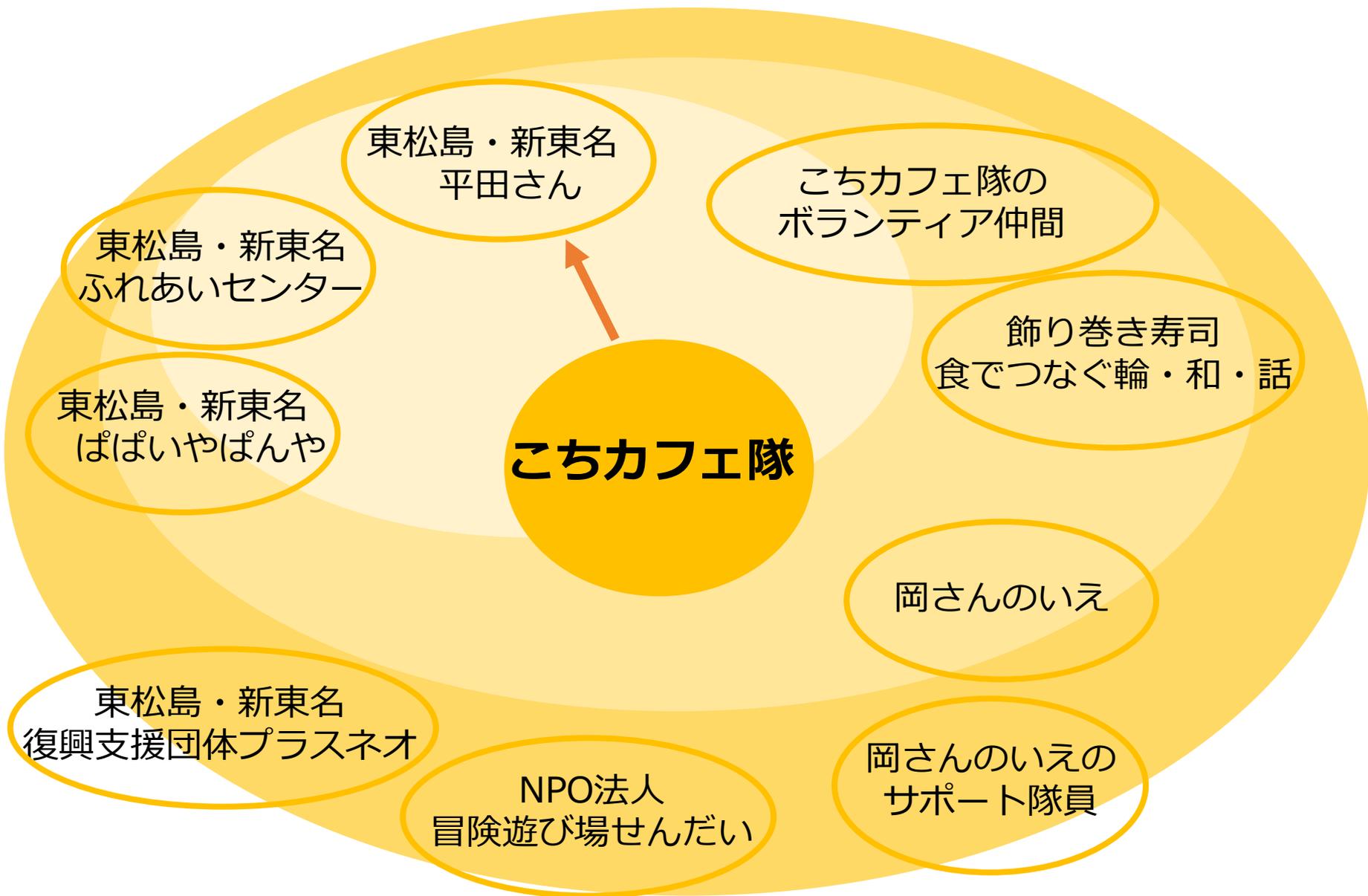


見ず知らずの
遠方からの支援を
効果的に活用する

岡さんのいえTOMO
世田谷上北沢の地域活動の拠点

災害にも強いコミュニティ

世田谷の防災まちづくりへの提言



世田谷の防災まちづくりへの提言

災害後、失われた地域コミュニティを再生する役割、重要性

被災直後	物資支援
被災後数か月	インフラ復旧、がれき処理、物資整理などの肉体労働的支援
被災後1年	集会所、住居、教育、就労など再出発への支援
被災後1年半	集会所でのイベント計画、実施、サポート、心のケア、精神的サポート
被災後2年	コミュニティ再生における問題解決サポート
被災後3年	自立した住民主体のコミュニティ作りサポート

被災後3年目以降

- 集会所の運用も含めて自らがまわしている状態
- 世田谷と東名で姉妹都市のような拠点どうしの永続的な定期的交流

世田谷の防災まちづくりへの提言

こちカフェ隊：世田谷の地域活性プロジェクトを
きっかけに任意で集まったカフェ仕掛け集団



災害をきっかけに、再結集
何かできないか？ボランティアチーム結成



現地で、カフェを通じて、集会所作り、
コミュニティ再生のお手伝い

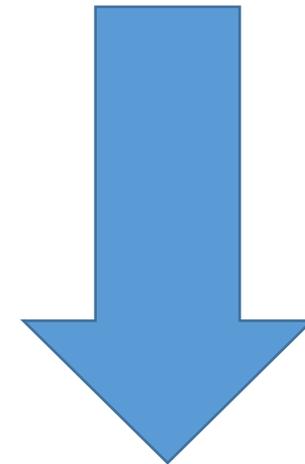


世田谷の岡さんのいえとの交流をきっかけ



まちのコミュニティスペースの運営や課題の
共有、知恵の分かち合いを継続

ボランティアチーム
サポート、支援



地域に根差したコミュニティ
共有、知恵の分かち合い

世田谷の防災まちづくりへの提言

住民主体の地域コミュニティ再生まで

被災直後

区外からボランティアを受け入れる体制づくり
ボランティア団体を把握するシステム

被災から1-2年

集う場所、コミュニティースペースをつくる
イベントやきっかけづくりのボランティア
ファンドのような経済的サポート

被災3年以降

コミュニティスペースの運営や課題の共有、知恵の分かち合い
地域コミュニティ団体への継続的サポート
自治体同士の交流、姉妹都市提携

